

① 概要

薄板成形シミュレーション技術の精度UP、金型の設計・製造精度の検証、プレス用材料の成形性評価のためには、成形歪分布の正確な把握が重要です。

この度当社では、非接触型の新しい三次元成形歪測定装置を導入しました。

② 主な仕様

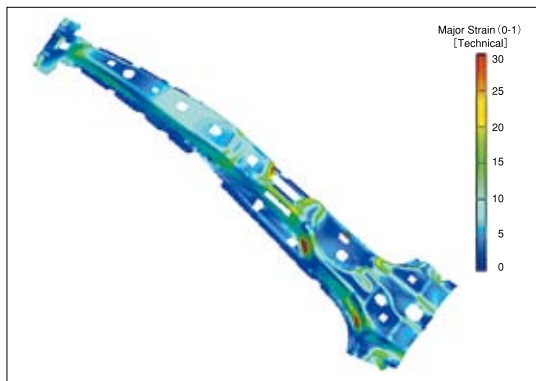
- (1) 測定精度：歪量として0.8~2%
(測定視野サイズに依存)
- (2) 測定範囲：～ボディサイドアウター大
(特に制約なし)
- (3) 測定環境：温度0~40℃、湿度85%以下

③ 特徴

- (1) 従来のスクライブドサークル試験では実現不可能であった、Major Strain、Minor Strain、板厚減少率分布の測定対象物全エリアにわたる同時測定が可能。
- (2) 三次元のカラーコンター図出力が可能のため、成形シミュレーション結果との対比が、目視で直感的にできる。
- (3) コンパクトな可搬式装置であるため、出張測定要望にも対応できる。

④ 利用分野

- (1) 自動車、家電などのプレス成形品・プレス成形用金型の設計開発および生産技術分野
- (2) プレス用新材料（薄鋼板、特にハイテン）の開発、評価分野



測定例 (Bピラー、Major Strain分布)